

# 第16回共に働くまちを拓くべんきょう会 どうなっている？養護学校卒業後の進路

11月22日(木)6時半～ 越谷市中央市民会館5F

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は7月から五ヶ月間、「障害者職業開拓員」という臨時の仕事に従事することになった方々にレポートをお願いします。

職場参加を考える会メンバー以外からも出てくださるよう、お願いしているところです。

また、正規の開拓員ではないが、「サブ」として一緒に動いた方々の感想・ご意見も受けたいと思っています。



越谷市役所を訪問した職業開拓員たち

**会費・200円**

主催・障害者の職場参加を  
考える会 048-733-2743

# 路 どうなっている？養護学校卒業後の進

## 員）話し手・宇都木 章さん（教員）

「障害のある子一人一人のニーズにあった教育を特別な設備と専門的スタッフによって保障し、その上で社会に参加し自立して生きていける力を養う」といった目的を背負わされた養護学校だが、卒業後の進路は年々厳しくなっているとされる。肢体不自由養護学校の場合、就労につながる人はごく少数で、卒業生の多くが施設、作業所という障害のある人だけの場に行くことになり、どこにも行かず家にいる人もいる。長年進路指導に携わってきた立場からの報告を聞き、一緒に考えてゆきたい。



肢体不自由養護学校卒業後、紆余曲折を経て、現在団地で一人暮らしの藤崎さん(右)。たくさんの介助者に支えられ障害者運動の日々。将来会社で働いて、その帰りに同僚と居酒屋に寄り上司の悪口を言い合うといったくらしをしてみたいと思っている。

## 第16回共に働くまちを拓くベンキョウ会

11月22日（木）6時半～ 越谷市中央市民会館5階

資料代・200円 障害者の職場参加を考える会 048-733-2743